

乳がん高度検診・治療センター

NEW-す No.118

「AYA世代のがん」としての若年者乳がん

No. 1

～ひとりで悩みを抱え込んでいませんか？～

AYA世代のAYA（アヤと読みます）とは、Adolescent & Young Adult（思春期および若年成人）の頭文字をとったもので**15～39歳の年齢層**を指します。この年代で罹るがんを「AYA世代のがん」と呼びますが、小児期に好発するがんや、乳がんなど成人のがんで若年発症の場合が含まれます。

今回のセンターニュースでは、**AYA世代のがんとしての若年者乳がん**に焦点を合わせて解説します。

AYA世代のがんとしての 若年者乳がん

つまり、
主に**20-30代**の
乳がん患者さんの
ことだね！



AYA世代は、本来がんの罹患率や死亡率が低い年代です。しかし、AYA世代の病死という観点からすると、がんが死因の第一位であり、30歳代に限れば乳がんがそのうち最多を占めます。ただ、乳がん全体からみるとAYA世代は、患者さんの絶対数が少ないので、この世代の乳がんは全乳がんの5%程度です。

一方、**AYA世代の女性は、仕事、結婚、出産、育児などライフステージが大きく変化する年代**であり、もし乳がんになった場合には、患者さん一人ひとりにのしかかる負担は大きく、**きめ細かい支援が重要**となります。

若年者乳がんの特徴

マンモグラフィ検診の対象が40歳以上のため、40歳未満の乳がんはほとんどが腫瘍（しこり）や乳頭からの血性分泌液などの**自覚症状が発見契機**となります。

そのため、ほかの年代の乳がんに比べてやや進行した状態で診断されることが少なくありません。



若年者乳がんと診断された患者さんは、**遺伝性乳がん卵巣がん症候群**の原因遺伝子である**BRCA1/2**遺伝子に変異を認める率が他の年代より高いことが分かっています。

遺伝子を調べる検査を手術方法や治療方針の決定に先立って行うことも大切です。

当院では40歳未満で検診を希望する方を対象に、乳腺エコー検査での検診を行っています。関心のある方はお問合せください。



乳がん高度検診・治療センター

NEW-す No.118

「AYA世代のがん」としての若年者乳がん

No.2

～ひとりで悩みを抱え込んでいませんか？～

若年者乳がんなどAYA世代のがんに対する 当院の取り組み

TEAM
AYA

当院のがん相談支援室では、AYA世代の乳がん患者さんが直面する身体的、精神的および社会的な相談にも応じています！

お仕事のことやご家族のこと、これからの生活のこと、乳房の手術のこと、妊孕性や更年期症状のこと、脱毛などの副作用のこと、治療費用のこと・・・

ご家族やご友人には相談しにくいこともあるかもしれません。

がん相談支援室では専門スタッフが専門知識や経験をもとにお話を伺います。

ひとりで悩みを抱え込まず
相談窓口をぜひご活用ください！



過去の乳がんセンターニュース

AYA世代に関わる話題は、乳がんセンターニュースでも取り上げています。該当する号をご参照ください。

- ・遺伝に関すること
No.112, No.99, No.87, No.79, No.73
- ・手術とくに乳房再建に関すること
No.90, No.72
- ・妊孕性、妊娠、出産などに関すること
No.78, No.21
- ・脱毛や爪などピアランスケアに関すること
No.113, No.80
- ・仕事に関すること
No.83, No.66



当院だけでなく地域全体で
AYA世代の方が情報交換できる場
の提供にも取り組もうと検討中です

同年代の方との交流は、時間的な制約もありなかなか難しいかもしれません。
AYAがんの医療と支援のあり方研究会
(AYA研)が運営する情報サイト等もあり、
これらを利用するののも一つですね！

<https://pr.aya-ken.jp/>



乳腺外科
乳がん看護認定看護師

稲治 英生
梅本 郁奈子